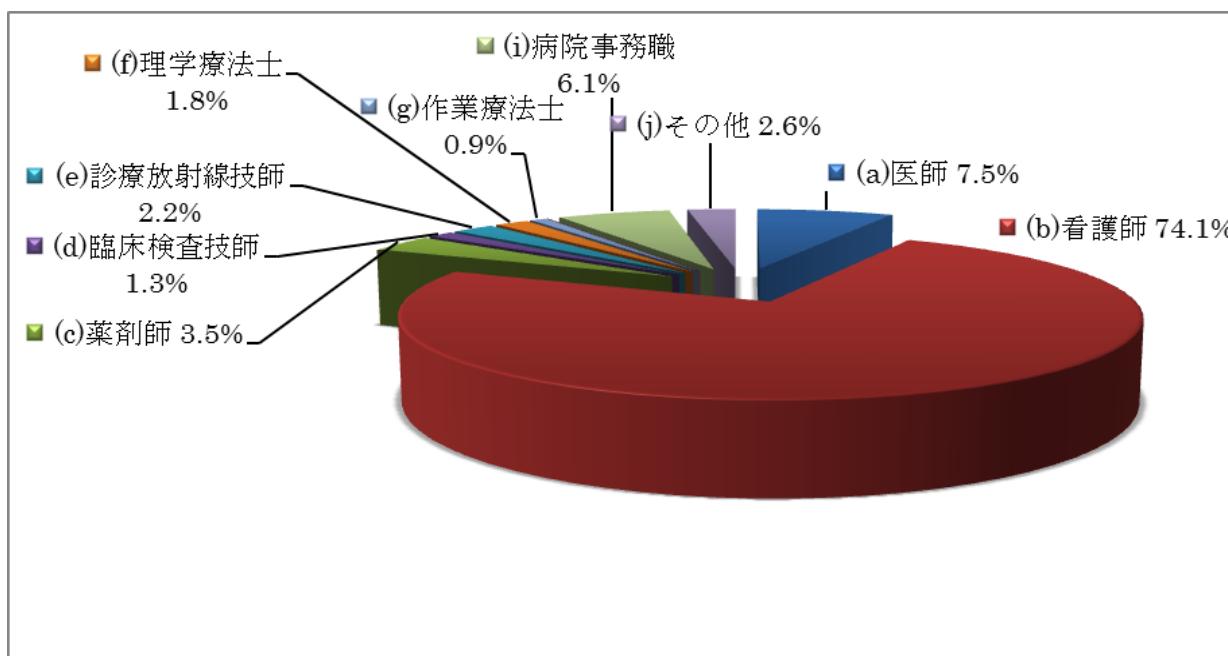


# 「平成27年度医療安全に関するワークショップについてのアンケート」集計結果

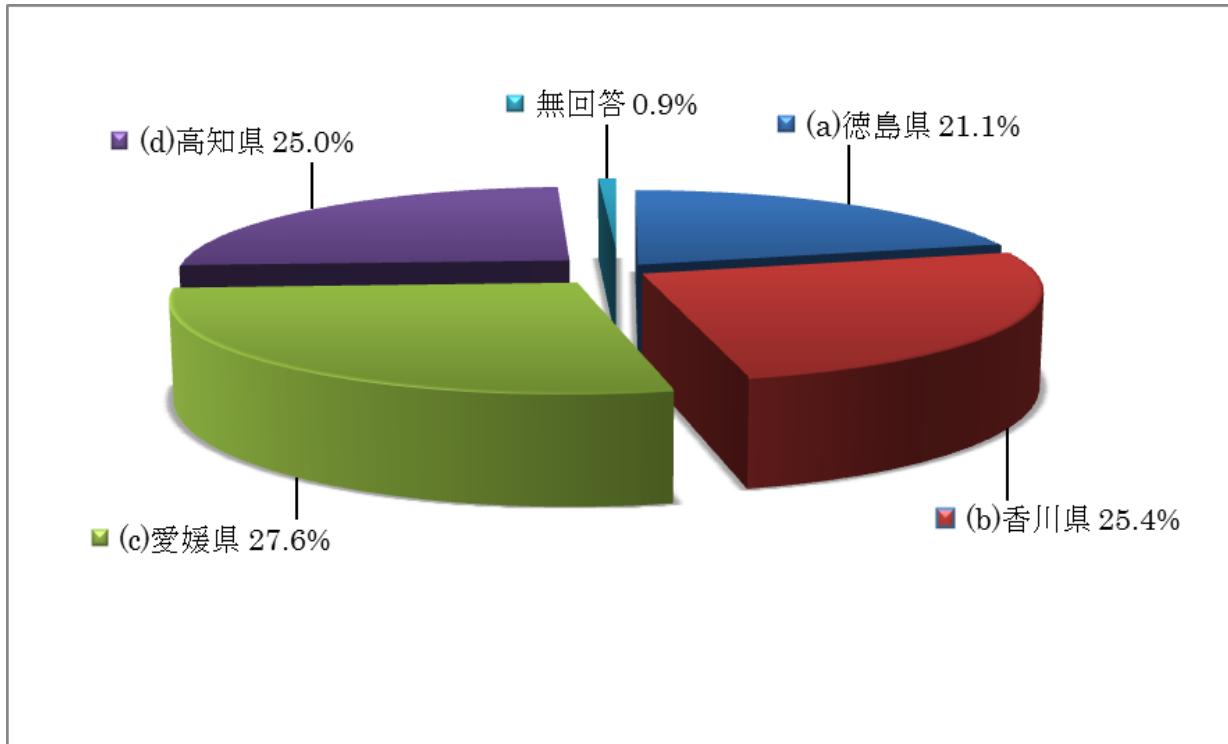
開催年月日:平成27年12月9日(水)～10日(木)  
場所:サンポートホール高松(香川県高松市)  
受講者:262名(1日目255名、2日目77名)  
回収件数:228件(回収率:約87.0%)

## 1. 職業種別



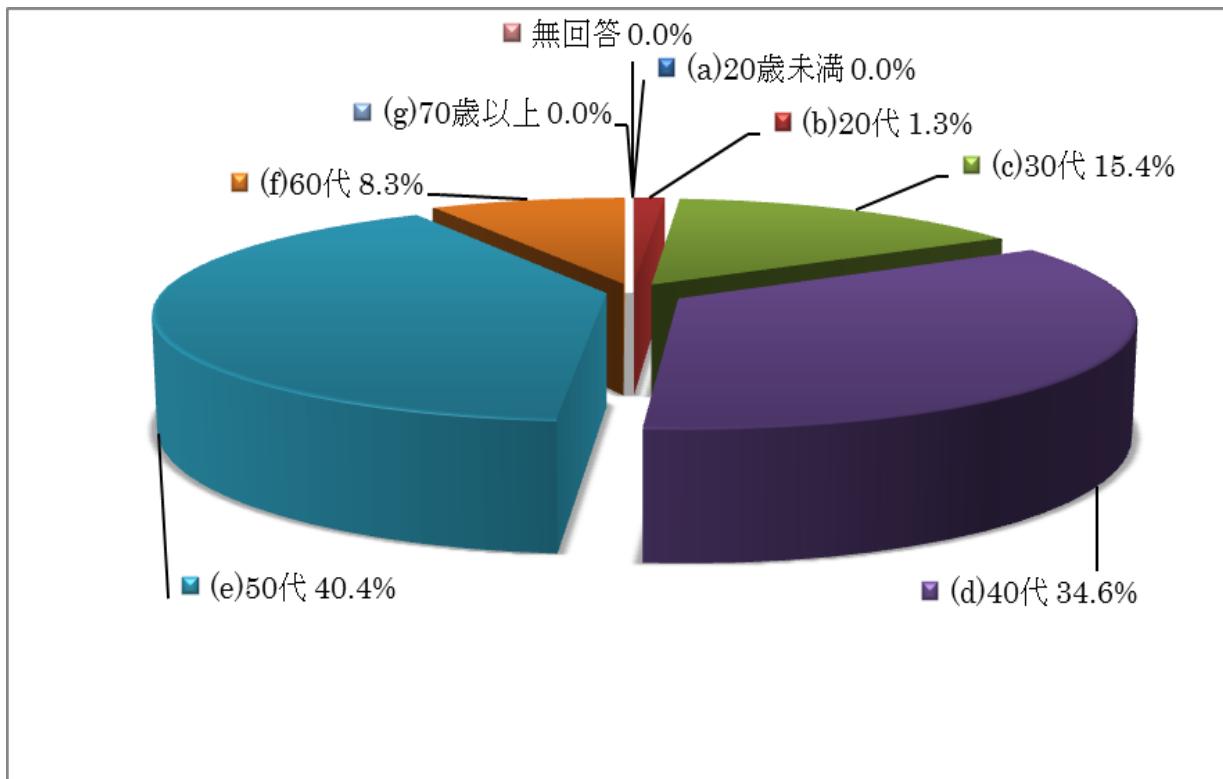
選択肢	回答数	構成比
(a)医師	17	7.5%
(b)看護師	169	74.1%
(c)薬剤師	8	3.5%
(d)臨床検査技師	3	1.3%
(e)診療放射線技師	5	2.2%
(f)理学療法士	4	1.8%
(g)作業療法士	2	0.9%
(h)言語聴覚士	0	0.0%
(i)病院事務職	14	6.1%
(j)その他	6	2.6%
(k)一般	0	0.0%
計	228	100.0%

## 2. 勤務先の県名



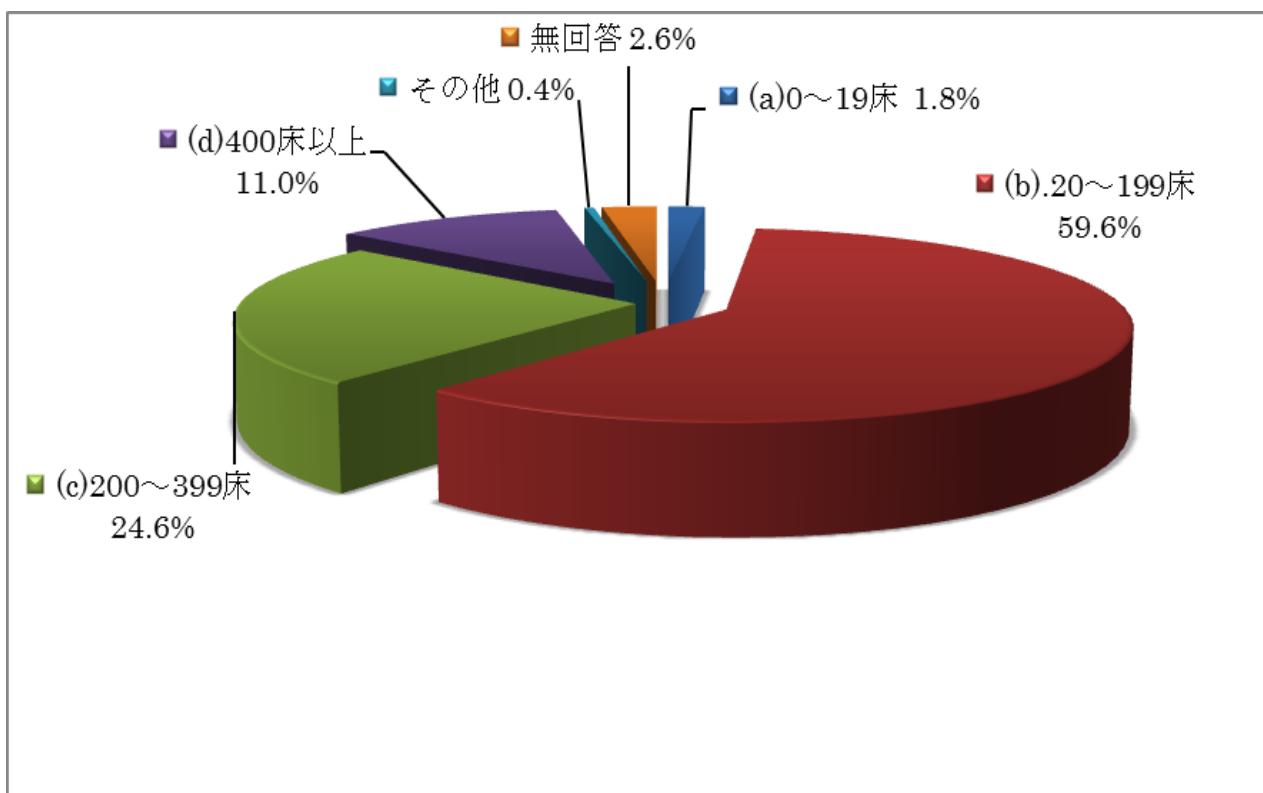
選択肢	回答数	構成比
(a)徳島県	48	21.1%
(b)香川県	58	25.4%
(c)愛媛県	63	27.6%
(d)高知県	57	25.0%
無回答	2	0.9%
計	228	100.0%

### 3. 年齢



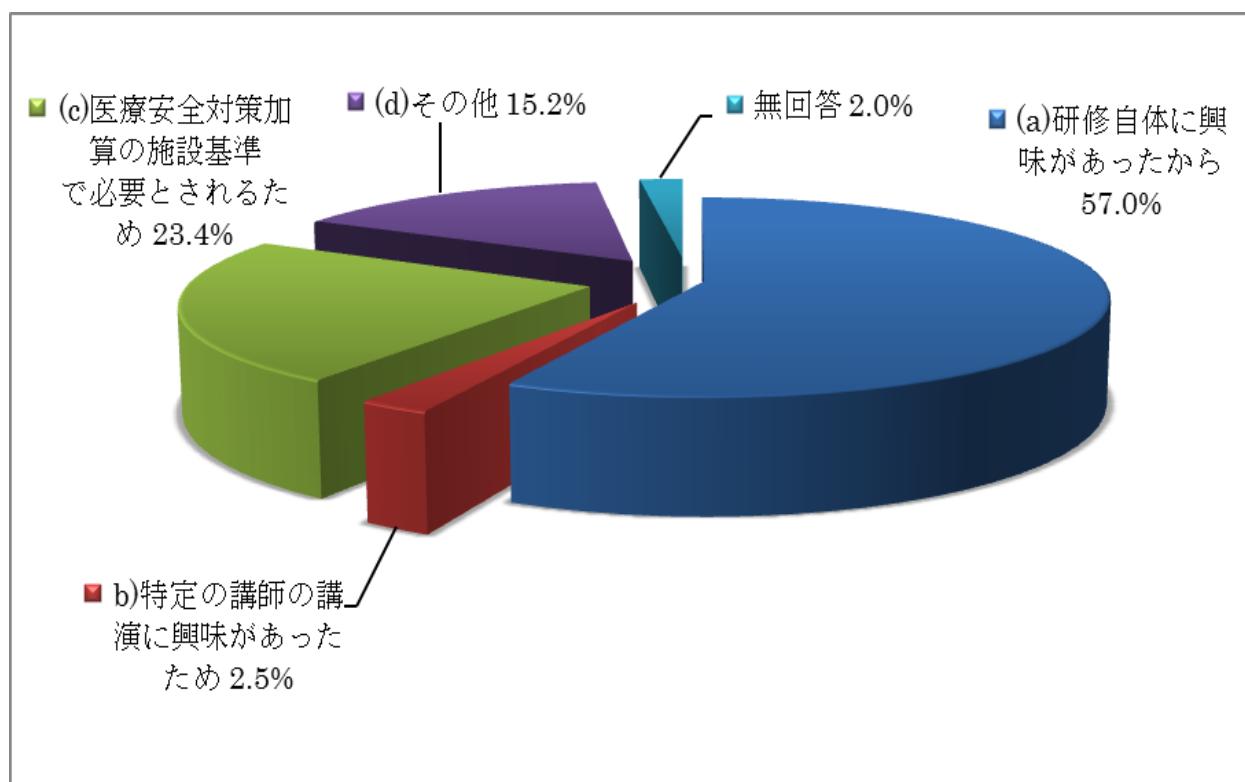
選択肢	回答数	構成比
(a)20歳未満	0	0.0%
(b)20代	3	1.3%
(c)30代	35	15.4%
(d)40代	79	34.6%
(e)50代	92	40.4%
(f)60代	19	8.3%
(g)70歳以上	0	0.0%
無回答	0	0.0%
計	228	100.0%

#### 4. 勤務医療機関の病床数



選択肢	回答数	構成比
(a)0~19床	4	1.8%
(b).20~199床	136	59.6%
(c)200~399床	56	24.6%
(d)400床以上	25	11.0%
その他	1	0.4%
無回答	6	2.6%
計	228	100.0%

## 5. 今回のワークショップの参加動機（複数回答含む）

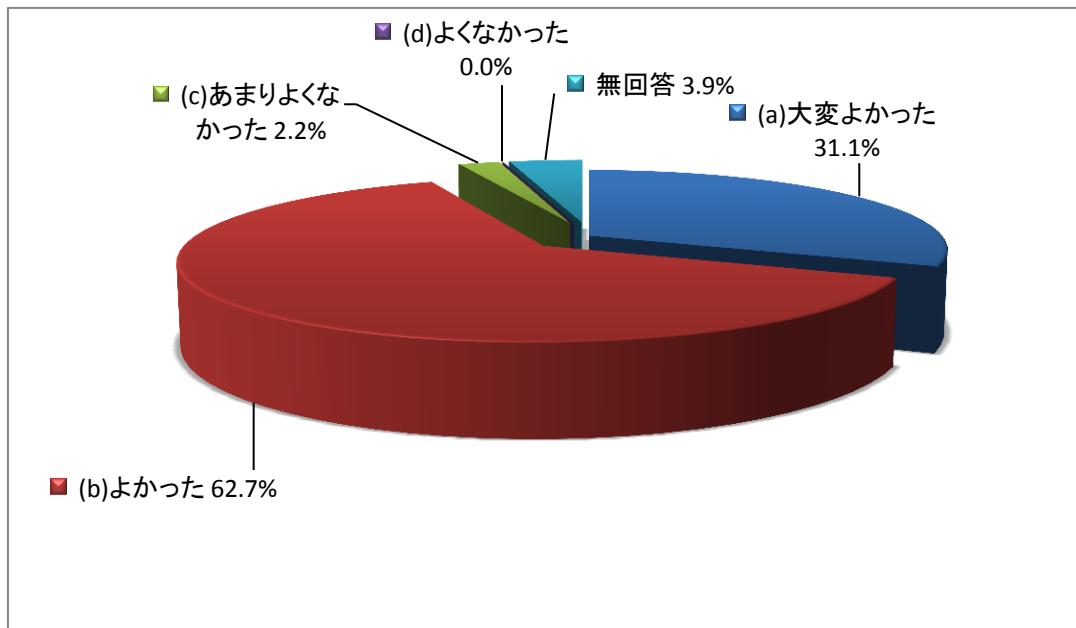


選択肢	回答数	構成比
(a)研修自体に興味があったから	139	57.0%
(b)特定の講師の講演に興味があったため	6	2.5%
(c)医療安全対策加算の施設基準で必要とされるため	57	23.4%
(d)その他	37	15.2%
無回答	5	2.0%
計	244	100.0%

## 6. 研修の内容について【1日目】

### 1) 講演①「医療事故事例分析の実際と対策立案、改善、評価について」

講師： 聖マリアンナ医科大学病院 医療安全管理室  
副部長 竜 トシ子 先生

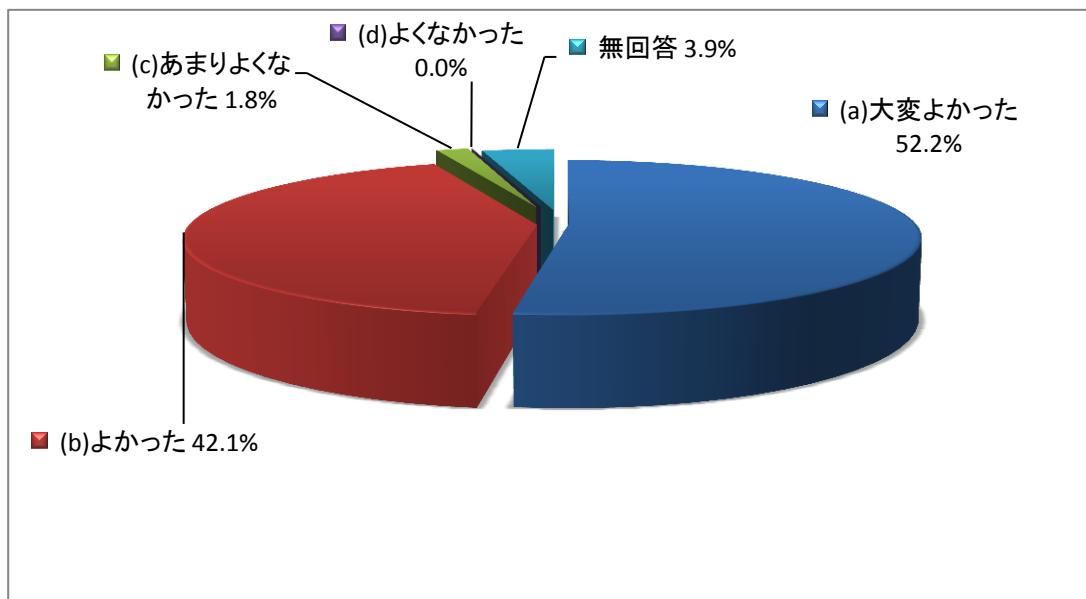


選択肢	回答数	構成比
(a) 大変よかったです	71	31.1%
(b) よかったです	143	62.7%
(c) あまりよくなかった	5	2.2%
(d) よくなかった	0	0.0%
無回答	9	3.9%
計	228	100.0%

## 6. 研修の内容について【1日目】

### 2) 講演②「患者・患者家族の視点から期待する医療安全について」

講師： 新葛飾病院 医療安全対策室  
医療対話推進者 豊田 郁子 先生

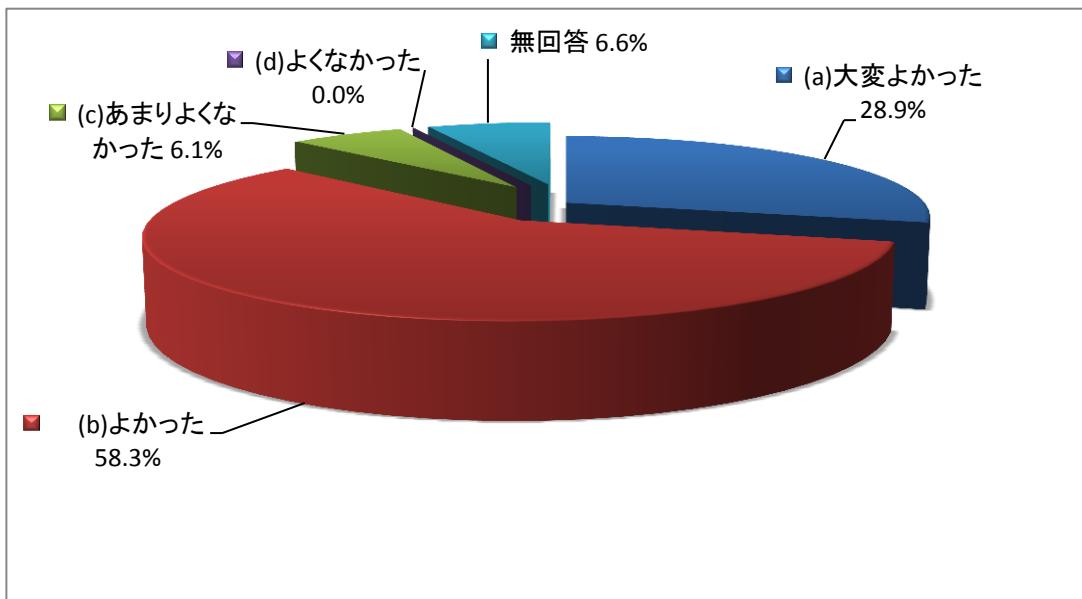


選択肢	回答数	構成比
(a) 大変よかったです	119	52.2%
(b) よかったです	96	42.1%
(c) あまりよくなかった	4	1.8%
(d) よくなかった	0	0.0%
無回答	9	3.9%
計	228	100.0%

## 6. 研修の内容について【1日目】

### 3) 講演③「医療事故対応に関する病院の意識と医療事故調査制度の展望」

講師： 九州大学病院 医療安全管理部 教授・部長  
(公財)日本医療機能評価機構 執行理事 後 信 先生

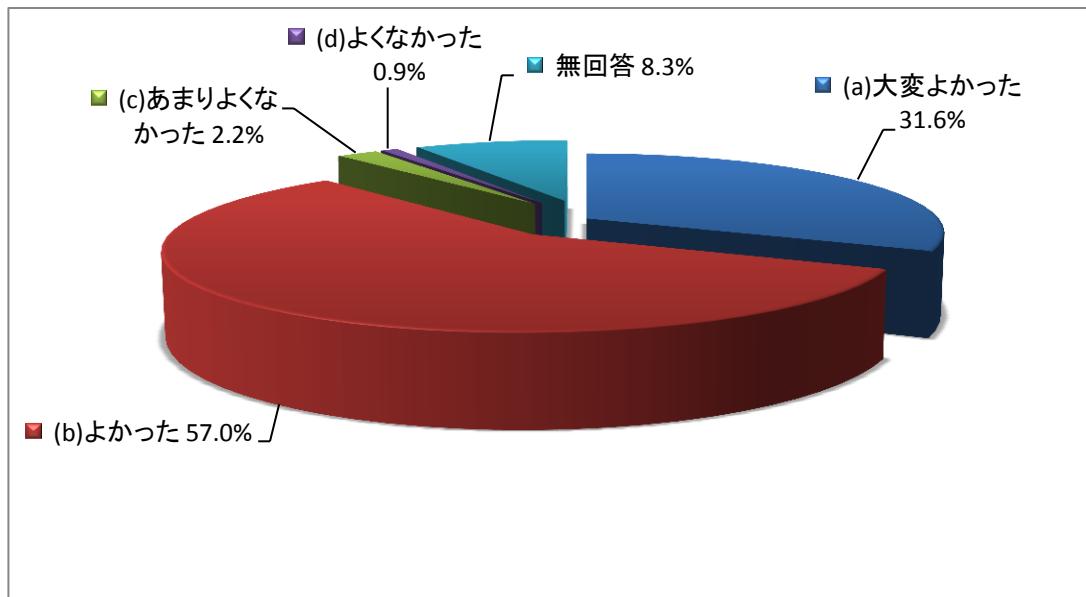


選択肢	回答数	構成比
(a)大変よかったです	66	28.9%
(b)よかったです	133	58.3%
(c)あまりよくなかった	14	6.1%
(d)よくなかった	0	0.0%
無回答	15	6.6%
計	228	100.0%

## 6. 研修の内容について【1日目】

### 4) 講演④「医療機関における医療安全研修の企画」

講師： パラマウントベッド(株)開発事業部  
主席研究員 杉山 良子 先生

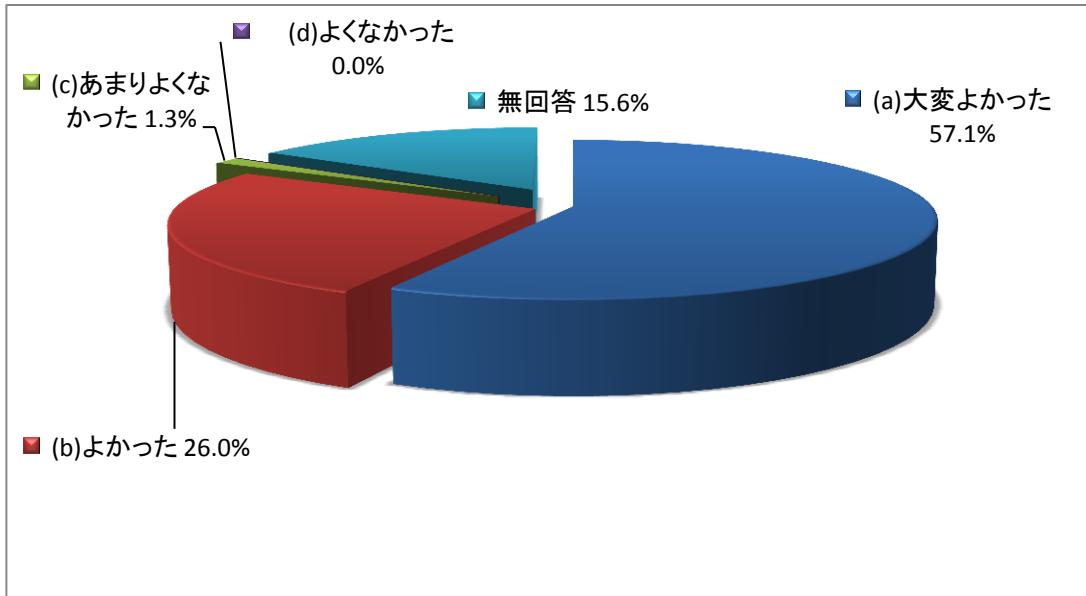


選択肢	回答数	構成比
(a)大変よかったです	72	31.6%
(b)よかったです	130	57.0%
(c)あまりよくなかったです	5	2.2%
(d)よくなかったです	2	0.9%
無回答	19	8.3%
計	228	100.0%

## 6. 研修の内容について【2日目】

### 5) グループワーク「安全文化の醸成『活用しよう、チームSTEPPS』」

講師： 愛媛大学医学部附属病院 医療安全管理部  
ゼネラルリスクマネージャー 戸田 由美子 先生



選択肢	回答数	構成比
(a) 大変よかったです	44	57.1%
(b) よかったです	20	26.0%
(c) あまりよくなかった	1	1.3%
(d) よくなかった	0	0.0%
無回答	12	15.6%
計	77	100.0%

## 7. 今回のワークショップについてのご意見、ご感想、お気づきの点等（主なもの）

### 【1日目 講演】

- 医療安全について改めて考える一助となった。
- 実践に適した講演内容でとても参考になった。
- 講師の先生方の熱い思いが伝わってきた。色々な分野の話が聞けて、バランスのとれた内容だった。
- タイムリーな話題を取り上げているので、ありがたい。
- これからのお院での研修や教育に役立てたいと思う。
- 1つの医療事故事例を、さまざまな分析方法で分析してみることで、分析方法の違いを知ることができた。今後実践につなげていきたい。
- K Y T（危険予知トレーニング）がとても良くわかった。
- 遺族側からの胸の詰まるようなお話を聞き、医療には絶対がないこと、真摯に向き合い仕事することが大切だと思った。
- 重大事故がおこるまでにコミュニケーション不足があることに初めて気づいた。  
医療従事者同士のコミュニケーションの良さが患者の安全に繋がるということが心に残った。
- 医療安全の原点に気付けて大変良かった。
- 医療事故調査制度について、制度までの経緯などの説明があり、とても分かりやすかった。
- 医療安全の研修の企画が参考になった。具体的な目標設定の重要性を感じた。
- P D C Aサイクルの必要性と回し方について具体的に研修してもらった。
- 講演時間が少し長い気がする。
- 電車の時間に合わせた時間で開催してもらいたい。
- スライドが見にくかった。（ピントがずれている。）小さい文字が見にくかった。
- 講演の時間を少し短くして、質疑応答の時間を作りたがる。

### 【2日目 グループワーク】

- チームSTEPPSがとても分かりやすかった。
- 参加型のワークは大変有意義でした。
- 他職種の人達と交わり、お互いの立場を理解していくことで、自分にない知識が得られ、非常に勉強になった。
- とても楽しい時間だった。机上の勉強だけでなく、実際に会話して手と口と頭を使うことができ、充実した時間だった。
- 自院でも医療安全の研修の中に組み込んでいけたらと思う。何回も繰り返してトレーニングできるともっといいと思う。
- 安全に、安心できる医療を実践するには、チームワーク及びコミュニケーションが大切だと更に感じた。
- 普段の業務において、できていないことが多いことに気付かされた。報告確認の仕方などは、意識して行わなければできないので、今回の学びを現場で実践できるように自ら取り組み、自院のスタッフにも伝えていきたい。
- シナリオ寸劇をすることで、習ったツールの意味を体感でき、とても分かりやすかった。  
自分が演じることに加え、他の方たちの劇を見ることでさらに頭に入ったように思う。
- 年2回以上の開催にするなどして、参加できる人数を増やして欲しい。
- また機会があればぜひ参加したい。
- 他県での開催もいいのではないかと思う。
- 4県にまたがったメンバーでのグループワークは意見交換、情報交換の場として良かった。  
このような機会は大切だと思う。
- 以前参加したときより会場が広くて良かった。
- 初対面の方々と声を掛け合いながら考えていくのが楽しかった。人の話をしっかりと聞いて参考にし、否定せずに受け入れることが大切だと思った。
- （グループの中に）ファシリテーター（補助講師）が最初から入っていたので、（分からないことがあれば）すぐに聞くことができ、スムーズに進められて良かった。

※今回のグループワークで取り上げた「チームSTEPPS」は、医療の質、患者安全向上のためにチームで取組むトレーニングプログラムです。